



Walk with Children

めぐろ



せいび

187号
2023年2月

何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある。

生まれる時、死ぬ時 植える時、植えたものを抜く時

泣く時、笑う時 嘆く時、踊る時

裂く時、縫う時 黙する時、語る時

愛する時、憎む時 戦いの時、平和の時

(コヘレトの言葉 3.1~2, 4, 7~8)

校長 シスター 小島 理恵

令和5年もすでに2か月目も半ばとなりました。時が経つのは早いものです。3月に卒業を控えた6年生は、残る小学校生活の日にちを数え始め、4月からの新しい生活に期待を膨らませながらも、名残惜しい思いを口にする子ども達もいます。振り返ってみますと、入学してきた時の愛らしかった子ども達が、こんなに大きく成長したことに驚きを感じると共に、これまで守り導いてくださった神様に感謝の気持ちが湧いて参ります。

上記、旧約聖書のコヘレトの言葉にあるように、何事にも時があります。日々、いろいろな体験を重ねる子ども達です。今、朝マラソンや縄跳びをしています。昨日できなかった二重跳びが今日にはできるようになるという感動を味わう子ども達も少なくありません。子ども達一人ひとりが持つ秘めた力は素晴らしいです。それを大きく成長させられるようこれからも努めて参りたいと思います。

コネクション
Connessione

～つながり～



あなたがたは地の塩、世の光である

マタイによる福音書 5章 13-16節

月曜日のみことば朝礼では、聖書朗読が行われ、そのみことばについてのお話を聞いています。そして、毎年この学年末の時期になると、卒業を控えた6年生が、小学校で学んだみことばの中から、自分たちが大切にしているみことばを選び、下級生に向けたメッセージとともに朗読をしています。先月は、この「地の塩、世の光」が朗読されました。

食材にひと味加え引き立てる「塩」、周りを照らし導く「光」。どちらも「他者のため」のあり方を示しています。自分の存在が意識されずとも、「他者を活かすために自分は小さい者となっていく」そんな存在になりなさいとイエス様はおっしゃっているのではないのでしょうか。

6年生は目黒星美で6年間を過ごし、これからもっと大きな世界に巣立とうとしています。世界を見渡すと、そこには憎しみ、悲しみが多くあり、たくさんの人々が傷ついています。その時、このみことばが、自分がどちらを向いたらよいかを考えるものさしとなってくれればと願っています。

ドン・ボスコの祝日 5年生宗教劇

5月の尾瀬高原学校のバスの中でドン・ボスコのビデオを見たところから、5年生の宗教劇は始まりました。ビデオを見て、それぞれドン・ボスコの活動の中から心に残った場面をみんなで出し合い、そこから劇を一から作り上げました。劇の練習が本格的に始まってからは、毎日のようにみんなでセリフの練習をしたり、ダンスの振付のおさらいをしたりと、協力しながら進めていきました。

全力を出したドン・ボスコ劇

5年生

ドン・ボスコの劇の本番がありました。2学期から練習してきたので、みんなが自分たちの力を練習の時よりも何倍も発揮することができていました。

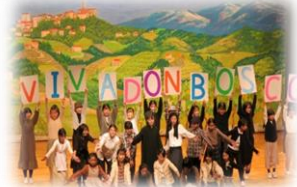
初めて台本をもらったとき、私たちが他学年に伝えたいことがたくさん書いてあって、これは全力をだしてがんばろうと思いました。

そして、私はナレーターになりました。ナレーターでも演技をするということを知っておどろきました。3年生の時も演技をしない役だったので、表情だけで気持ちを表現できるか心配でした。でも、周りの仲間が私がいけないことがあったらしっかり教えてくれました。

また、2学期に劇団四季の「アナと雪の女王」で学んだ感情表現や声の出し方を思い出して一生けん命にがんばりました。

ミレニアムホールや体育館の練習は教室での練習とは全然ちがいました。声がおくの方に届きづらくて、もっと大きな声ではきはきと言葉を話さないといけないと思いました。また、ぶ台の上で言う時はきん張でどうしても早く言うので、きん張ないように落ち着いて言えるようにがんばりました。

本番の日は、いつもの何倍もきん張りましたが、今までやってきたように落ち着いて、大きな声ではきはき言えるようにがんばりました。みんなで一つのことに向かってひとつになってがんばれたので良かったです。



節分の集い、そしてもうすぐ進級

1年生

1年生は2月3日（金）に体育館で節分の集いを行いました。自分達で作成した鬼のお面をかぶって鬼退治。1人ずつ豆の形をした紙にこれから頑張りたいことを書いて貼りました。司会も子ども達がするなど、自分達でできることがたくさん増えました。

このようにたくさんのお面をかぶって、様々なことができるようになった1年生に、「今年度を振り返って嬉しかったことや楽しかったことは何ですか？」と質問したところ、1年生からたくさんのお面が届きました。



- ぼくがうれしかったことは、6年生と出あえたことです。なぜかというともだちがふえたからです。ウィンターフェスティバルで、6年生とまるばつゲームをしたのがたのしかったです。
- 2学期にアナとゆきの女王を見にいったのしかったです。さいごにアナがおって、エルサがとかしたところもぜんぶかんどうしました。「げきだんしき」をまた見にいきたいとおもいました。
- 1年生になって、1ばんたのしかったです。1年Cぐみのみんなであさがおをうえたことがたのしかったです。みんなのあさがおがさいているのが、とてもきれいだったからです。
- どんぐりひろいにいったことです。おもしろいどんぐりや、かわいいどんぐりをひろいました。みんなでいけてたのしかったです。また、どんぐりをひろいにいきたいです。
- わたしがうれしかったことは、学校であたらしいともだちができたことです。いっしょに、おにごっこやたけうまであそべたのしいです。またみんなといっしょにあそびたいとおもいました。
- ドン・ボスコのおいわいがたのしかったです。1年生みんなのこえがあわさった、きれいなこえを出せたからです。

